

水泳授業が始まります！

まだ涼しい日もありますが、先月28日より水泳授業が始まりました。この日に向けて5/13(火)には6年生がプール清掃に取り組んだり、教員が分担して高圧洗浄機でプールサイドの汚れを取ったり、タイルがめくれている部分を補修する等、準備を進めてきました。

さらに、5/22(木)には、日本赤十字の指導員を講師に招いて、全教員で**救急法講習会**を行いました。もちろん、水泳授業での方が一の事態に正しく迅速に対応できるようにするためです。

昨年度までは、5月からプールに入ることはありませんでしたが、近年の夏の暑さは非常に危険であり、7月にもなると**熱中症指数(WBGT)が連日31を超える(※原則運動禁止)**こともあります。また、「**気温+水温の数値が65を超えると、水泳授業を行ってはならない**、というルールもあります。

そうなると、プールに注水したり、プールサイドに水をまいたりしても水泳授業を行うことができなくなるため、本年度からプールの時期を前倒しすることにしました。

5/26(月)には、体育主任の鈴木大輝先生から、全校児童に対して以下の3点について指導がありました。

- ◆ 水泳期間中の安全を第一に、楽しい水泳シーズンを過ごすこと。
- ◆ 自己の目標に向けて、がんばり抜く意欲をもつこと。
- ◆ 正しいプールの使い方を知ること。

水泳授業は、全ての体育授業の中最も危険を伴います。それは、1つの間違いやトラブルで生死に直結してしまう危険があるためです。そのため、担任の先生方には「**指導しても言うことを聞かない子はプールに入れないで構いません。**」と厳しい指導をお願いしてあります。保護者の皆様にもぜひご理解いただきたいです。

さらに、水泳授業の参加について、保護者様の確認をお願いしています。

水泳の学習は**楽しい反面、命に関わる授業でもあるので**、お子様の健康状態を確認したうえで行います。そこで以下の点について、お願いします。

- ①水泳カードには、体温などの必要事項を記入の上、必ずサインか捺印をお願いします。
- ②**記入漏れやサイン・捺印がない場合には、残念ですが安全上プールは入れません。**

朝のお忙しい中、確認、サイン（捺印）していただくのは申し訳ないのですが、これを忘れるとお子様がプールに入れないので、ぜひ忘れずに対応してください。

なお、体調不良等で水泳授業をお休みする子供たちは、プールサイドでの見学ではなく、会議室等で読書をする等の対応をします。これも熱中症予防対策です。

以上、最新の注意を払って水泳授業を実施していきますので、保護者の皆様にもご理解ご協力をお願いします。

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は 原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31	厳重警戒 激しい運動 は中止	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など 体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28	警戒 積極的に休憩	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、 水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25	注意 積極的に 水分補給	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に 積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 適宜水分補給	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の 補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生する ので注意。